



ホーンスピーカー一体型マルチ電子音回転灯

シグナルホン®

取扱説明書

MODEL : RT

このたびは、パトライト シグナルホン® をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。保守・点検や補修などをするときには、必ず本書を読み直してください。なお、ご不明な点は最終ページに記載の技術相談窓口へお問い合わせください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- 危険 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

1. 安全のため必ずお守りいただきたいこと

- 危険 発火注意
● 回転灯が点灯しているときに紙や布などの燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。

- 警告
● 配線・製品の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
● 製品の分解・改造をしないでください。火災、感電などの恐れがあります。
● 配線は間違いないよう注意してください。配線を間違ると内部回路が焼損し、火災の原因となります。
● 電源は、必ず電圧許容範囲内で使用してください。火災や故障の原因となります。
● 工事を伴う設置は、必ず専門業者へ依頼してください。感電、火災、落下などの恐れがあります。

- 注意
● 電源回路及び本体内部回路保護のため、必ず外部ヒューズを接続してください。
● 電球は「10.仕様」および製品の銘板表示されている電球以外は使用しないでください。製品の故障や電源焼損の原因となります。
● グローブは必ず閉めてから使用してください。反射鏡の回転による負傷、電球の熱による火傷などの恐れがあります。
● 警告および注意事項に反したお取扱い、分解・改造や天災などによって生じた故障についての保証はできません。また本書に記載した内容以外での使用は避けてください。

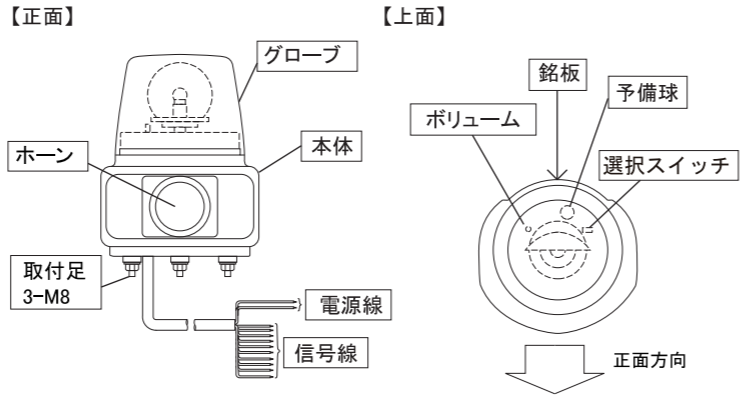
- お願い
● 強い電波や誘導ノイズのない環境で使用してください。ホーンからノイズがでる恐れがあります。
● 腐食性ガスのない環境で使用してください。故障の原因となります。
● 静電破壊防止のため、体に帯電している静電気を放電させてから、作業をおこなってください。他のアースされている金属部分を素手で触れると、静電気を放電させることができます。
● 各部品の取付けは、推奨トルク値にておこなってください。
● 本製品を安全重視の保安目的で使用する場合には、必ず日常点検を実施し、万一の不具合・故障発生時に対応できるシステム設計をおこなってください。
● グローブを外したままや割れたまま放置しないでください。内部に水や埃が入ると故障の原因となります。

2. 呼称表示

RT - 100 A - R

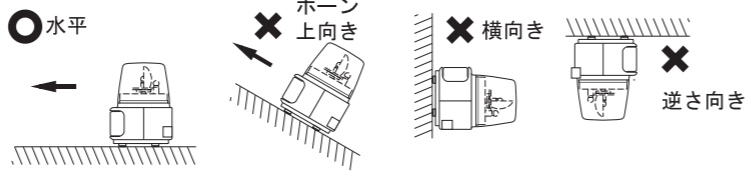
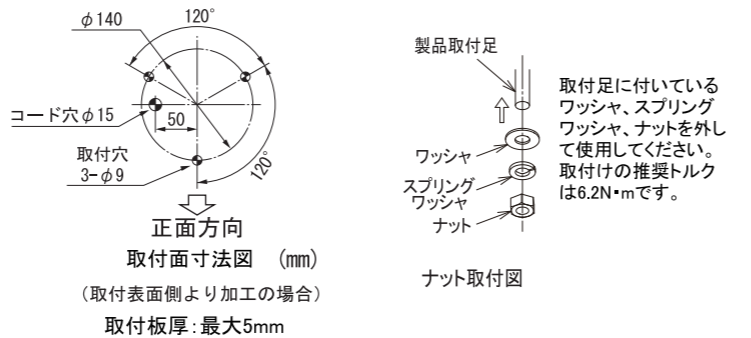
定格電圧 24 : DC 24V, 100 : AC 100V, 200 : AC 200V
音色タイプ A : Aタイプ, C : Cタイプ, D : Dタイプ, E : Eタイプ
グローブ色 R : 赤, Y : 黄, G : 緑, B : 青

3. 各部の名称



4. 取付方法

- 取付面へ取付穴の加工をおこなってください。(取付面寸法図参照)



- 警告
● 製品の取付けは、必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
● 工事を伴う設置は、必ず専門業者へ依頼してください。感電、火災、落下などの恐れがあります。

- 注意
● 取付面は、製品の重さに耐えることができる十分な強度を確保してください。

- お願い
● 高所へ設置する場合は、補修のしやすい足場のある場所を選んでください。
● 電源に接続した状態のまま使用する場合は、安全のため本体近くに容易に電源を切ることができるスイッチを設けてください。
● ホーン部を上向きに取り付けしないでください。水や埃が入り、故障の原因となります。
● 横および逆さ方向の取付けはしないでください。
● 配線時に電源線及び信号線を引っ張ったり、本体内に押し込んだりしないでください。
● 振動の発生する場所では製品落下を防ぐため、取付ナットの締付けの定期点検や、ねじロックなどの塗布をおこなってください。

- お知らせ
● 取付面の材質・厚さや、製品の再生音量により、取付面が共振し、振動音(ビビ音)が発生する場合があります。
● 振動が激しい場所で使用すると、電球寿命が短くなります。

5. 配線方法

信号線の外部接続には、リレー・スイッチなどの無電圧接点回路、またはオープンコレクタ回路(NPN型)を使用してください。回路・接点容量は、下表を参照してください。

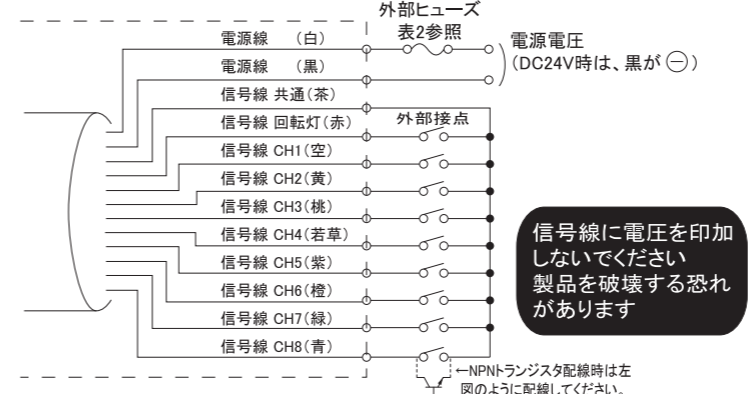


表1.信号線回路 (無電圧接点回路, オープンコレクタ回路)
表2.突入電流・ヒューズ (型式, 突入電流, ヒューズ)
表3.信号線接続容量 (電流容量, 耐電圧, もれ電流, ON電圧)



- 警告
● 配線は必ず電源を切っておこなってください。感電の恐れがあります。
● 配線は間違いないよう注意してください。内部回路が焼損し、火災の原因となります。
● AC200V仕様については感電や火災事故防止のため必ずアース端子を接地してください。

- 注意
● 電源回路および本体内部回路保護のため、必ず外部ヒューズを接続してください。

- お願い
● 電源を入れる前に、配線が正しくおこなわれていることを確認してください。
● ノイズ対策のため、各配線はできるだけ短くし、シールド線を使用することをお薦めします。また、高電圧線に沿わせたり、誘導ノイズを受けやすい場所に配線すると、ノイズの影響を受け、誤動作する恐れがあります。
● 電源線にリレー・スイッチなどの無電圧接点を使用する場合は、突入電流を考慮したものを選定してください。容量が不足すると、接点の溶着・誤動作の原因となります。
● 複数台を制御する場合は、それぞれ接点を独立させてください。

6. 設定方法

6-1.選択スイッチ
以下の機能の選択が可能です。

- 6-1-1音色グループ選択 (選択スイッチ1~3)
選択スイッチ1~3の操作で、A~Hの8種類の音色グループから選択が可能です。
● 音色グループA~G(ピット入力)
入力モードがピット入力に設定されます。ピット入力にて、各音色グループに対応したCHの音色が再生します。動作は「7-1.ピット入力」を参照してください。
● 音色グループH(バイナリ入力)
入力モードがバイナリ入力に設定されます。バイナリ入力ではCH1~CH6の信号線を使用し、32音から音色を選択できます。再生する音色No.はバイナリ入力コード表を参照してください。動作は「7-2.バイナリ入力」を参照してください。



6-1-2テスト再生 (選択スイッチ4)
通電時にONIをすると、選択されている音色グループのCH1を再生します。動作確認や音量調整時に使用してください。

- お願い
● 選択スイッチは、ピンセットなどの工具を用いて、操作してください。
● 選択スイッチは、過大な力で操作しないでください。選択スイッチが折れる恐れがあります。
● テスト再生はCHと共通の信号線を短絡せずに使用してください。短絡されている間はテスト再生されません。

● 音色タイプA (型式: RT-□A)

音色グループ表 (グループA, B, C, D, E, F, G, H)

音色一覧表 (音色No. 01-32)

● 音色タイプC (型式: RT-□C)

音色グループ表 (グループA, B, C, D, E, F, G, H)

音色一覧表 (音色No. 01-32)

著作権者 13:CREWE BOB 14:CARPENTER RICHARD LYNN 15:JOPLIN SCOTT 16:CARRELL JAMES P 17:すぎやま こういち 18:WILSHAW MICHAEL 19:PACHELBEL JOHANN 20:伊秩 弘将 21:宮川 泰 22:渡辺 岳夫 23:30織田 哲郎 24:CONTI BILL 25:WARREN DIANE EVE 26:川村 結花 27:KAN 28:安藤 まさひろ 29:ノース 松本 31:平川 達也 32:松任 谷 由実

